ARIS 10

ARIS アクセラレーターの GDPR 表記規則

2026 年 4 月

This document applies to ARIS Version 10 and to all subsequent releases.

Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © 2010-2026 SAG ARIS GmbH, Saarbrücken, Germany and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

The name Software AG and all SAG ARIS GmbH product names are either trademarks or registered trademarks of Software GmbH and/or SAG ARIS GmbH and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

This software may include portions of third-party products. For third-party copyright notices, license terms, additional rights or restrictions, please refer to "License Texts, Copyright Notices and Disclaimers of Third Party Products". For certain specific third-party license restrictions, please refer to section E of the Legal Notices available under "License Terms and Conditions for Use of Software GmbH Products / Copyright and Trademark Notices of Software GmbH Products". These documents are part of the product documentation, located at https://softwareag.com/licenses and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

Use, reproduction, transfer, publication or disclosure is prohibited except as specifically provided for in your License Agreement with SAG ARIS GmbH.

目次

目次 I

1 はじめに 1

2 文書の内容 2

2.1 目的と範囲 2
2.2 必要条件 2

3 ARIS 表記規則 3

3.1 処理アクティビティと関係の作成 3

3.1.1 オブジェクトと関係 4
3.1.2 属性 5

3.1.2.1 [処理アクティビティ] の属性 5
3.1.2.2 [クラスター] の属性 7
3.1.2.3 [組織ユニット] の属性 8
3.1.2.4 [アプリケーション システム タイプ] の属性 9

3.2 処理アクティビティ/プロセス階層の作成 11
3.3 クラスター/データ階層の作成 11

4 サポートおよび法的情報 12

4.1 ドキュメンテーションのスコープ 12
4.2 サポート 13

1 はじめに

データ保護管理情報と機能の作成と再利用性を簡易化するために、ARIS Architect でオブジェクトをモデル化できます。これらのオブジェクトは ARIS Risk and Compliance のワークフローにより使用されます。しかしながら、これは ARIS Architect でのモデル作成に関するメソッド・機能規則および表記規則に従った場合のみ可能です。これらの規則に準拠している場合のみ、モデル化されたデータを ARIS Risk and Compliance に転送して再使用できます。これらのオブジェクトを適切に ARIS Architect で管理するには、ARIS Risk and Compliance のオンライン ヘルプの『モデル作成の規則』をご覧ください。

2 文書の内容

下のセクションでは、説明ビュー、モデル タイプ、関係と接続線タイプ、属性の使用に関する標準を説明します。

2.1 目的と範囲

目的: モデル作成ガイドラインの指定

本ガイドに含まれない項目: ユーザー文書

2.2 必要条件

次の表記規則を使用するには、最初に GDPR メソッド拡張フィルターを ARIS Architect にインポートします。このフィルターにより、派生されたおよびユーザー定義のメソッド構造 (モデルタイプ、オブジェクトタイプ、シンボル接続線タイプ、属性タイプ グループ) が GDPR 規則に必要な ARIS メソッドに追加されます。これらは、GDPR 規則に必要なメソッド構造です。他のすべてのアクセラレーターは、この拡張 ARIS メソッドに基づいています。

GDPR メソッド拡張を使用するには、[全メソッド] フィルターを使用するか、GDPR メソッド拡張を既存の ARIS GRC フィルターに追加します。GDPR メソッド拡張フィルターには、GRC メソッドに基づく GDPR 用の追加拡張のみが含まれます。GRC メソッドに関する詳細情報は、ARIS Risk and Compliance とともに配布される表記規則マニュアルを参照してください。 GDPR の ARIS アクセラレーターのインストールの詳細については、『GDPR の ARIS アクセラレーター インストール マニュアル』を参照してください。

3 ARIS 表記規則

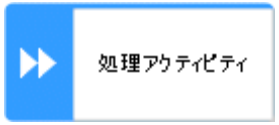
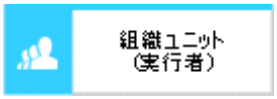
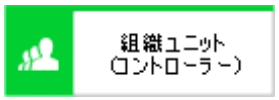
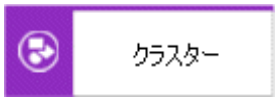
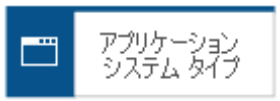
3.1 処理アクティビティと関係の作成

ARIS データ機密性機能の中心は、EU 一般データ保護規則 (GDPR) により定義されたプロセス ファンクション (処理アクティビティ) の識別に依存します。ARIS の [GDPR 処理アクティビティ] 属性を使用して、プロセス ファンクションが処理アクティビティ (true) であるかそうでないか (false) を指定します。

処理アクティビティと関連情報は、マスター データの保守を簡略化するために、ARIS Architect の [処理アクティビティ記述図] モデル (API 名: b0205e20-4aa5-11e7-43b7-08002721906d) でモデル化されています。このモデル タイプは、[ファンクション割当図] モデル タイプから派生したものです。

3.1.1 オブジェクトと関係

データ保護管理のフレームワーク内では、 次のオブジェクトを [処理アクティビティ記述図] モデルで使用できます。

オブジェクト タイプ名	API 名	シンボル タイプ名	シンボル	ARCM 名
ファンクション	OT_FUNC	処理アクティビティ		プロセス (階層要素)
組織ユニット	OT_ORG_UNIT	組織ユニット (実行者)		組織実行者 (階層要素)
組織ユニット	OT_ORG_UNIT	組織ユニット (責任者)		組織責任者 (階層要素)
クラスター/データ モデル	OT_CLST	クラスター		データ (階層要素)
リスク	OT_RISK	リスク		リスク
アプリケーション システム タイプ	OT_APPL_SYS_TYPE	アプリケーション システム タイプ		アプリケーション システム タイプ (階層要素)

次の接続線を使用できます。

オブジェクト	接続/API 名	オブジェクト
組織ユニット (責任者)	技術的責任を持つ (CT_IS_TECH_RESP_1)	処理アクティビティ
組織ユニット (実行者)	実行する (CT_EXEC_1)	処理アクティビティ
リスク	発生する (CT_OCCUR)	処理アクティビティ
アプリケーション システム タイプ	サポートする (CT_CAN_SUPP_1)	処理アクティビティ
処理アクティビティ	読み取る (CT_READ_1)、出力として持つ (CT_HAS_OUT)	クラスター

3.1.2 属性

3.1.2.1 [処理アクティビティ] の属性

処理アクティビティは、集合、記録、送信による開示などの、個人データに実行されるあらゆる操作です。そのため、これは一般データ保護規則 (GDPR) に準拠します。処理アクティビティと関連する情報は、ARIS Architect の[処理アクティビティ記述図] モデルおよび [処理アクティビティの記録] モデルでモデル化されます。 次の割り当ては処理アクティビティに適用されます。

ARIS 属性	API 名	ARCM 属性	注意
名前	AT_NAME	name	必須フィールド、最大 250 文字入力できま

ARIS 属性	API 名	ARCM 属性	注意
			す。
説明	AT_DESC	description	処理アクティビティの目的を指定します。
GDPR 処理アクティビティ	2b70adc0-4504-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_processingActivity	ユーザー定義 - ファンクションが処理アクティビティかどうかを指定します。
データ機密性スコア	695b1ad0-1df9-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_process_privacyScore	ユーザー定義 - 階層要素のデータ機密性を限定するために、事前定義されたスケールで予想されるスコアを指定します。 例: 処理アクティビティ資格質問票から派生したスコア。
データの機密性	332790f0-1dfa-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_process_dataSensitivity	ユーザー定義 -データに特別な処理が必要かどうかを示します。 オプション (デフォルト値): ▪ **公のデータ** ▪ **機密** ▪ **機密性が高い** ▪ **非常に機密性が高い** ▪ **極めて機密性が高い**
サインオフ関連	AT_AAM_SIGN_OFF_RELEVANT	signoff	処理アクティビティをサインオフ関連としてマークします。 設定されていない場合は、ARIS Risk and Compliance でのデフォルト値は false です。

3.1.2.2 [クラスター] の属性

次の割り当ては [クラスター] に適用されます。

ARIS 属性	API 名	ARCM 属性	注意
名前	AT_NAME	name	必須フィールド、最大 250 文字入力できます。
説明	AT_DESC	description	
制限レベル	15eaceb1-096b-11e7-2959-d4bed9888991	gdpr_restrictionLevel	ユーザー定義 - データの法的用途のレベルを指定します。オプション (デフォルト値): ▪ **無制限データ** ▪ **個人データ** ▪ **機密性の高い個人データ** ▪ **機密データ**
データ機密性スコア	695b1ad0-1df9-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_privacyScore	ユーザー定義 - 階層要素のデータ機密性を限定するために、事前定義されたスケールで予想されるスコアを指定します。 例: データ要素資格質問票から派生したスコア。

3.1.2.3 [組織ユニット] の属性

次の属性割り当ては [組織ユニット] オブジェクトに適用されます。

ARIS 属性	API 名	ARCM 属性	注意
名前	AT_NAME	name	必須フィールド、最大 250 文字入力できます。
説明	AT_DESC	description	
データ保護オフィサー	1c2537a1-4072-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_protOfficer	ユーザー定義 - データ保護オフィサーの名前と住所を表示します。処理アクティビティの記録を含める必要があります。 レポートに表示する必要があります。
データ保護代表者	8f055dc1-407e-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_protRepresentative	ユーザー定義 - データ保護代表者の名前と住所を表示します。処理アクティビティの記録を含める必要があります。 レポートに表示する必要があります。
サインオフ関連	AT_AAM_SIGN_OFF_RELEVANT	signoff	組織ユニットをサインオフ関連としてマークします。 設定されていない場合は、ARIS Risk and Compliance でのデフォルト値は false です。

3.1.2.4 [アプリケーション システム タイプ] の属性

次の属性割り当ては [アプリケーション システム タイプ] に適用されます。

ARIS 属性	API 名	ARCM 属性	注意
名前	AT_NAME	name	必須フィールド、最大 250 文字入力できます。
説明	AT_DESC	description	
データの機密性	332790f0-1dfa-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_dataSensitivity	ユーザー定義 -データに特別な処理が必要かどうかを示します。 オプション (デフォルト値): ▪ **公のデータ** ▪ **機密** ▪ **機密性が高い** ▪ **非常に機密性が高い** ▪ **極めて機密性が高い**
GDPR 限定スコア	badc1630-2014-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_qualificationScore	ユーザー定義 - 階層要素のデータ機密を評価するために事前定義されたスケールの予測されたスコアを示します。例: アプリケーション システム資格質問票から派生したスコア。
GDPR リスク関連性スコア	da6e5cb1-2014-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_riskRelevanceScore	ユーザー定義 - 階層要素のリスク関連性を評価するために事前定義されたスケールの予測された

ARIS 属性	API 名	ARCM 属性	注意
			スコアを示します。例: GDPR リスク評価から派生したスコア。
データ機密性スコア	695b1ad0-1df9-11e7-43b7-08002721906d	gdpr_privacyScore	ユーザー定義 - 階層要素のデータ機密性を限定するために、事前定義されたスケールで予想されるスコアを指定します。 例: アプリケーション システム資格質問票から派生したスコア。

3.2 処理アクティビティ/プロセス階層の作成

処理アクティビティのビジネス クラスター (組織が代表している部門や国など) をモデル化するには、[処理アクティビティの記録] モデル (API 名: c45962f1-4b87-11e7-43b7-08002721906d) を使用します。このモデルは、[付加価値連鎖図] から派生したモデルです。処理アクティビティ間の階層は、[プロセス指向的に上位にある]/[プロセス指向的に下位にある](CT_IS_PRCS_ORNT_SUPER) 接続線で表すことができます。

ARIS Risk and Compliance では、階層にはツリー構造のみが使用できます。 したがって、各処理アクティビティの上位処理アクティビティ/ファンクションは 1 つしかありません。

3.3 クラスター/データ階層の作成

クラスター間で階層をモデル化するには、[IE データ モデル] または [eERM] モデルを使用してください。[IE データ] モデルの 2 つのクラスターのあいだで直接の接続線として [構成される]/[一部である] (CT_CONS_OF_2) 接続線により、または [eERM] モデルをクラスターへアサインすることにより形成される非表示の接続線として、クラスター間の階層が表されます。

ARIS Risk and Compliance では、階層にはツリー構造のみが使用できます。 そのため、各クラスターは上位クラスターを 1 つしか持つことができません。

4 サポートおよび法的情報

このセクションは、製品サポートと法律に関する一般情報を提供します。

4.1 ドキュメンテーションのスコープ

提供されている情報では、印刷が行われた時点における設定および機能について説明しています。ドキュメンテーションとソフトウェアの生産サイクルが異なるため、設定や機能に関する説明が、実際の設定や機能と異なることがあります。相違に関する情報は製品に付属しているリリース ノートに記載されています。リリース ノートをお読みになり、記載されている情報を考慮して製品をインストール、設定、および使用してください。

SAG ARIS GmbH によって提供されるコンサルティング サービスを利用せずにシステムの技術的機能と業務機能をインストールする場合は、インストールするシステム、その目的、対象システム、さまざまな依存性などに関して広範な知識が必要です。プラットフォームの数が多く、ハードウェアとソフトウェアの設定が相互に依存するので、特定のインストール シナリオしか説明できません。すべての設定と依存性を記述することはできません。

各種の技術を組み合わせる場合は、製造元の指示 (特にインターネット ページに公開されたリリースに関するお知らせ) に従ってください。承認されているサードパーティ システムが正しく機能すること、および正しくインストールされることの保証はいたしかねます。また、サードパーティ システムはサポートしていません。必ず、該当の製造元のインストール マニュアルに記載されている手順に従ってください。問題がある場合は、製造元にお問い合わせください。

サードパーティ システムのインストールにサポートが必要な場合は、最寄りの ARIS 営業担当『https://aris.comsee 』までお問い合わせください。このタイプの製造者固有または顧客固有のカスタマイズは標準の ARIS ソフトウェア保守契約の対象にはならず、特別なご依頼と契約によってのみ実行可能であることにご注意ください。

4.2 サポート

製品サポート

有効なサポート契約をお持ちのすべてのお客様に ARIS 製品のサポートを提供しています。

使用可能な製品バージョンおよびサポート、サポート提供の日程に関する情報は、ARIS Community『https://ariscommunity.com/support/product-version-availabilitysee 』をご覧ください。

サポート インシデントを作成および更新『https://ariscommunity.com/supportsee 』したり、アイデアと将来的なリクエストを投稿『https://aris.ideas.aha.iosee 』するには、ARIS Community のグローバル サポートにご連絡ください。

COMMUNITY

ARIS Community に登録すると、製品のダウンロード、アップデートおよび修正、専門的な情報の検索、他のユーザーとの情報交換を行うことができます。

文書

製品の使用方法およびアクティブ化する方法、およびその他の技術サポートに関する質問は、ARIS Documentation Web サイト『https://docs.aris.com/see 』をご利用ください。

文書のトピックに関するフィードバックは、 documentation@aris.com までお寄せください。